

第14回ベイタウン年男・年女撮影会 今年は辰年 2012

毎年ベイタウンの新春を飾るのは「年男年女」のみなさん。初めて干支を迎える子どもたちから6回目という方まで今年は36人が集まってくれました。今年はいいい年になることを祈って、「あけましておめでとうございます」



写真左から山本春花さん「特技はルービックキューブ。2年生で始めて、初めは上手く面を揃えられなくて投げ出していました」。久米夏子さん「中学校に入ったら調理部に入りたいです（体験入学の特に食べたピザがおいしかった!）」。猿田愛佳さん「元旦生まれです！ 今日はお母さんに誘われてきました」



パティオス2番街の鈴木さん「前々から今日の撮影を楽しみにしていました」



ファーストウィングの味岡怜太君
「中学に入っても水泳がんばります」



シータワの桑原昭子さん（写真左）
昭和3年生まれの桑原さん。ベイタウンの印象を尋ねると、「ベイタウンコアが街の中心的存在になっているところがいいですね。たくさんのサークルがあり、住民同士コミュニケーションが取りやすい環境だと思います」。年女を迎える2012年の目標は、「夫婦共に健康で暮らすこと」



セントラルパークイーストの土屋芳邦さん
土屋さんは大のロッテファン。「年に10～20回球場に足を運びます。2005年と2010年のロッテ優勝のときは、ベイタウンでの優勝パレード写真をたくさん撮りました。今年は定年を迎えますが、元気に働いていきたい」



12番街の辻康子さん

「昨年は、これまで生きてきて初めての大地震を体験しました。メッセのイベントに参加して、上から物が落ちてきたり、若い人の後について必死で外に逃げました。今年は健康に恵まれる限り、あちこちを旅行したいと思っています。次の年男年女の撮影にも参加したい！」

打瀬小が取り組む卒業研究

毎年、打瀬小の6年生が取り組む「卒研」。子どもたちそれぞれが研究したいテーマを決め、約一年間かけてまとめていきます。中学受験を控えた子も多い中、全員が最後まで完成させ、中には先生方も驚くようなすばらしい研究をする子もいるとか。今年の6年生はどんな研究をしているのでしょうか。6年生の教室にお邪魔し、取材しました。【城本】

取材に協力してくれたのは6年4組の子どもたち。卒研の授業がスタートすると、研究資料を片手に調べ始めました。といっても教室に残っている子はほんの数名。他の子たちはコンピューター室や、校庭へ向かいます。ビデオカメラを校庭に運ぼうとしている子がいたので、何に使うのか聞いてみると、『『持久力』について調べるため、

自分が走っている姿を友達に撮影してもらいます」とのこと。同じ研究テーマの子と共同作業でがんばっているようです。そんな中、特におもしろそうなテーマで研究している3人の子に詳しく話を聞くことができました。テーマ設定の純粋な動機から研究内容まで、目を輝かせながら話してくれました。

大河原 飛生（おおかわら ひゅう）君 研究テーマ「人工衛星のしくみ」



5年生の夏、長野県にお父さんと星を見に行きました。そのとき、たくさんの星の中に一つだけ動いている星を見つけました。なんだろう、と不思議に思ってお父さ

んに尋ねると、「あれは人工衛星だよ」と教えてくれました。以来、人工衛星に興味を持ち卒研のテーマに選びました。人工衛星のしくみを調べるといっても、周囲に専門家の人がいるわけではないので、主にインターネットで調べています。人工衛星はどうやって飛ぶのか、中には何が積まれているのか、多くの情報や写真を集めることができました。中でも一番驚いたのは、人工衛星は現在約6000個も地球の周りを飛んでいることです。もともと理科が好きで、星や飛行機に興味がありましたが、人工衛星は調べることがたくさんあるので面白いです。

平田 伊織（ひらた いおり）君 研究テーマ「3D映像のしくみ」



3D映像に興味を持ったのは5年生のときです。どうやって映像を作っているのか

知りたかったので卒研のテーマに選びました。偶然、お母さんの友人がテレビ制作に携わっていることが分かり、その方に詳しい話を聞くことができました。3D映像は、右目用と左目用の映像を重ね合わせて作っていることや、テレビや映画で3D映像を制作する際のコストなど、たくさんの話が聞けました。専門家の方の話が聞けたので、卒研を順調に進めることができました。今は、実際に3D立体ムービーを自分で作ってみようと試行錯誤しているところです。作り方はインターネットで調べています。よい作品を作りたいです。

3人それぞれが、日常生活の中から「知りたい、調べてみたい」というテーマを見つけていることが分かりました。けれども、そこから先はさすが打瀬小生。インターネットを利用したり専門家に話を聞いたりして、かなり掘り下げた研究をしていました。通常の授業では学べないような高度な内容を自分の力で学習していくというのは、子どもたちの熱意と能力がないとかなかなかできないこと。それを6年生全員がやり遂げることを知り驚きました。来月には一人10分程度の卒研発表会が予定されており、現在研究のまとめの段階に入ってい

ます。先生から研究についてのコメントはいただけるそうですが、特に点数化はしていないとのこと。それでも、子どもたちにとって自分で調べまとめたことは大きな財産であり、打瀬小に通った証になるはずです。今後も続いていくであろう卒研に、ベイトタウン住民のひとりとして期待しています！

鈴木 杏奈（すずき あんな）さん 研究テーマ「昔の学校について」



4年生のとき、静岡県で暮らしているおじいさんから古い教科書のコピーをもらいました。明治時代に使われていた小学校国語の教科書です。中を見ると、国語の教科書なのにカタカナばかりならんでいました。今私たちが使っている教科書とは全然違っていたので、昔の子たちはどのようにして勉強していたのか興味がわいてきました。おじいさんにそのことを話すと、昔の小学校を復元した建物に連れて行ってくれました。建物は木造4階建てで、机やいすも木でできていました。黒板は黒くて、教室全体は日当たりが悪く薄暗い感じがしました。私は打瀬小のような日当たりの良い明るい学校で勉強ができてよかったと思います。卒研では、昔と今の学校の違いについて、建物や教科書を比較しながら表にまとめています。

第19回ベイトタウン音楽会 Winter Concert 終わる



12月18日（日）。第19回ベイトタウン音楽会「Winter Concert」がコア音楽ホールで開かれました。このコンサートは「ベイトタウン音楽愛好会」の主催で、毎年2、3回のペースで開かれてきた恒例の音楽イベントです。毎回100人を超す出演者があり、今回は朝11:00に始まり、6:30過ぎまでという6時間にも及ぶ大音楽会でした。出演するのは幼稚園児から大人まで。年齢も楽器も、技量もさまざま。ピアノを習っている子どもたちの独奏が中心ですが、親子や兄弟の連弾や、中には孫とおじいちゃんのハーモニカデュエットという微笑ましいプログラムもありました。

音響の良い音楽ホールと世界最高のコンサートグランドピアノ。これほどの資産が住民管理で守られていることは驚きです。

打瀬中 体験入学会と新入部員勧誘合戦

12月2日(金)、打瀬中学校では打瀬、海浜打瀬、美浜打瀬の3小学校の6年生を招いて体験入学会が開かれました。「中学校ってどんなところ?」。この日中学校を訪れた6年生約400人にとって学校の建物や勉強ももちろんですが、最大の関心事は何と言っても「部活」。一方、中学生にとってはこの日は新入部員獲得のための絶好のチャンス。日頃は運動部に比べて目立たない文化系「科学部」も小学生があっと驚く実験で新部員の獲得を狙います。【21番街 北村】

体験入学最初の一時間。6年生は学校別に一列に並んで学校の中を歩き、廊下から中学校の授業を見学しました。6年生たちは自分たちが入学する中学校見学をとっても楽しみにしていて、きれいで新しい校舎に大喜びです。

「生徒会の人みんなとっても優しい」「学校の中がきれいで嬉しい」「中学生のお兄さんやお姉さんがとっても大きい」「吹奏楽部に入りたい」「バスケット部に入りたい」「学校が広すぎて友達とはぐれちゃった」「早く中学生になりたい」「廊下が迷路みたいで、迷子になりそう」と少し興奮気味に中学の感想を話してくれました。

ひととおり授業や校舎を見学したあと、いよいよ部活の紹介です。廊下のあちこちには「打瀬中学校男子バレー部」とか「打瀬中学校水泳部」などと書かれたプラカードを持って先輩たちが待ち構えます。新入部員の入部を心待ちにしている科学部は、「水の電気分解」「雲を作る」の2つの実験を準備して待っていました。

「水の電気分解」は中学2年生が授業で習う内容で、危険な水酸化ナトリウムを使用します。小学生がけがをしないよう、安全保護ゴーグルをつけてもらい、きちんと注意を促しながら実験を進めていました。



小学生に話しかけ、質問し、興味を持ってもらえるよう工夫しながらの実験です。説明を聞く小学生はみな神妙な顔つきで、本格的な科学実験にドキドキしているようでした。去年まで小学生だった中学1年生もこの日ばかりは「先輩」です。「えー。水は水素と酸素の化合物で、化学式ではH₂Oと言います」と、6年生を前にして急に大人っぽい口ぶりで解説しはじめます。この日科学部を訪れた6年生はなんと147人。去年より倍増です。科学部の生徒たちは部員増加に確かな手応えを感じているようでした。

部長は2年生の橋本美和さん。科学が大好きで、いろいろな科学実験に科学部のみんなとチャレンジしています。思い出深い実験を2つ紹介してもらいました。

『カルメ焼き』は駄菓子づくりですが、

重層(炭酸水素ナトリウム)の熱分解の実験。タイミングが難しくて、焦がしたこともあったけど、サクサクした歯ごたえの甘いお菓子をみんなで味わえました」

『バブロケット』は炭酸入浴剤『バブ』から発生する二酸化炭素の圧力を利用してフィルムケースをロケットにします。パンツという音とともに、数メートル飛び、成功しました」

科学部は3年生が退部した現在、1、2年生とも10人ずつの合計20人。週3回、実験を中心に活動しています。楽しみながら知識を深めるため、夏休みにはお台場の『日本未来科学館』にみんなで出かけたそうです。

科学部に入って良かったことを聞いてみました。「学校の理科の授業の予習ができます。定期試験前には理科を中心とした勉強会をするので、定期試験では高得点が取れます」「いろんな実験ができるので、とにかくおもしろいこと」

実験に興味のある人は、ぜひ科学部に入部してください。たくさんの新入部員が入ってくれるのを期待しています。



科学部の部活紹介に来ていた海浜打瀬小の仲よし4人組。写真左から藤原彩夏さん、依田菜摘さん、大谷奈緒子さん、坂本葉子さん。

1月のコア・イベント

1月8日(日) 恒例餅つき会(青少年育成委員会主催)

日時: 1月8日 日曜日

場所: ベイタウン・コア 中庭

9時より先着で受付を開始します。720名での実施になります。10時から30分おきに8回に分けて行います。焼き芋の販売も行います。

参加費は100円です。子供たちと一緒にふるってご参加下さい。(雨天の場合は翌9日に延期します。)

1月21日(土) わくわくお話し会 1月の常設お話し会

日時: 1月21日 第3土曜日 10:30から

場所: ベイタウン・コア 講習室

予約不要 途中入場できます。

今月もわくわくするお話を用意しておまちしています。年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひきてね! 予約は不要です。読み手も募集中 見学大歓迎!

ブログ更新中・見てね** <http://waku.makusta.jp/> **

お問合せ先: 井上 (043-211-0188 wak2@yahooogroups.jp)

1月28日(土) 寺子屋工作ランド

内容はコアアトリウムに展示してあります

時間: 9:30~11:30 場所: ベイタウン・コア 工芸室

持ってくるもの: 小刀、セロテープ 参加費: 50円(保険料)

1月29日(日) 第101回ファツィオリの会

日時: 1月29日 第5日曜日 9:30~11:30

場所: ベイタウン・コア 音楽ホール

予約不要 途中入場できます。

月に一度イタリアのフルコンサートピアノを囲んで音楽を楽しむ会です。ピアノ以外の楽器や声楽でもご参加いただけます。

非公開でもご利用できますのでお気軽にお申し込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。

最新のプログラムは <http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。

申込締切: 1月15日(日)

申し込み先: TEL&FAX 275-3163 (笠原)

公民館講座 消費生活講座 悪徳商法やカード詐欺などから自分を守ろう

日時: 1月18日(水) 午後1:30~3:30

対象: 成人 定員: 30名 費用: なし

用意するもの: 筆記用具

申し込み: 1月5日から、直接または電話で打瀬公民館まで

TEL: 043-296-5100

公民館講座 男の料理教室「パエリアをマスター」

日時: 3月1日(木) 午後1:00~3:00

対象: 男性 定員: 15名 費用: 1000円

用意するもの: 筆記用具、メモ、エプロン、三角巾、ふきん(台拭き・食器拭き各1枚)、手ふきのタオル

申し込み: 2月2日から、費用を添えて直接打瀬公民館まで

TEL: 043-296-5100